

# Y I A 会員だより 2022年5月号

発行；吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

第209号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>

## 【5月以降の活動予定他】

### ※吉野川市国際交流協会 総会

日時：5月8日(日) 13:00-14:00

5月15日(日) 日本語ボランティア講座実地研修

13:00～15:30 吉野川市文化研修センター

6月19日(日) 俳句・書道ワークショップ

13:00～16:00 鴨島公民館

7月17日(日) 日本語スピーチコンテスト

13:30～15:30 山川公民館

7月24日(日) 徳島県日本語弁論大会

## ◆「市長としゃべらんで」原井市長との座談会

萩森 健治

吉野川市の広報誌では、「市長としゃべらんで」と題して市長と吉野川市に縁のある人や団体代表との対談が掲載されています。今回、国際交流協会から同企画に応募したところ市長との対談が実現しました。



対談は3月23日の10時から市長応接室で行われました。定刻の5分前に市長が応接室に入室され、お互いに挨拶を交わした後に対談が始まりました。

対談に際して市長には事前に参考資料をお渡ししておりましたが、市長からは資料の内容に関して質問があり、それに答える方式でお話ししました。おもな内容は以下のとおりです。

1. 自己紹介
2. 国際交流協会の活動を始めたきっかけ
3. これまでの活動内容、今取り組んでいること
  - (1) これまでの活動内容
  - (2) 吉野川市国際交流協会とは？
  - (3) 日本語教室が私のライフワーク
  - (4) 活動についての思い
4. 今後取り組んで行きたいこと(希望)
  - ・国際交流活動の広報
  - ・市内に住む外国人のことをもっと知ってほしい

・国際交流活動に参加してほしい

### 5. 今後のまちづくりへの提案

人口減少、少子高齢化対策の一つとして、市内に住む外国人の活用や外国人を増やすことを提案

対談に際して緊張するのではと心配していましたが、市長は和やかな雰囲気です。いろいろ質問してくださったおかげで、緊張することもなく気軽にお話することができました。対談の内容については、市の広報誌6月号に掲載される予定です。



## 吉野川市国際交流協会 2022年度総会の案内

新緑の候、コロナの感染拡大防止をしながらお過ごしのこととお察しいたします。

さて、吉野川市国際交流協会 2022年度総会を下記のように開催する予定です。

🇯🇵 日時：5月8日(日) (13:00～14:00)

🇯🇵 場所：吉野川市文化研修センター

🇯🇵 議事：

- ①2021年度事業報告及び決算報告、監査報告
- ②役員改選
- ③2022年度事業計画(案)及び予算(案)

✚ 出席：国際交流協会会員 25名以内

なお、今後の感染拡大状況によっては総会を開催できない場合も考えられます。そこで、会員の皆様にはあらかじめ文書審議により議案の賛否を回答していただいております。

総会を開催できない場合には理事会を開催し、文書審議の結果をもとに総会の決議に代えることにいたしたいと思います。

吉野川市国際交流協会・会長 萩森 健治

### ◆ローマ駐在報告 三栖秀昭

ローマでの生活も1年間が過ぎました。1年がたって、慣れてきたこともあれば、不慣れなままのこともあります。

その不慣れなことの中で1番、困っているのがイタリア語です。現在、私は勤務が終わってから、月曜日はビルティスというバレーボールチームに入れてもらって、小学6年生男子のバレーボールの練習のお手伝いをさせてもらっています。しかし、イタリア人コーチが話している内容は20%ぐらいしかわかりません。



火曜日は、キアラという近所に住んでいるイタリア人の女性に家庭教師としてアパートまで来てもらいイタリア語を勉強しています。キアラは日本語がまったく話せません。

水曜日は野上さんというイタリアに来て4年になる女性の方から、野上さんの仕事場の近くのバール(喫茶店のような感じのお店)でイタリア語を教してもらっています。日本語で説明してくれるのでわかりやすいです。

木曜日は、エロイーザという、日本に2年間滞在経験のある27歳のイタリア人女性に家庭教師として来ても

らいイタリア語を学んでいます。彼女は日本語がペラペラで、日本人的な考えを持ったイタリア人です。

日曜日は、アレッサンドロという40歳の男性の方と、バールでイタリア語を勉強しています。アレッサンドロは日本に興味があって日本語を勉強したい。私はイタリア語を勉強したい。それで中学1年生の英語の教科書を使って、アレッサンドロは、教科書の英文を日本語に訳す。私はそれをイタリア語に訳するという感じで、お互いに教えあいながら勉強しています。

また、この春休みには野上さんから、彼女が初めてイタリアに来た時に9か月間、通ったというイタリア語の語学学校を紹介してもらい、フィリピン、イスラエル、コロンビアなどの国々の人たちと一緒に3週間、勉強をしました。語学学校の先生は、大きなジェスチャーを使い、はっきりした発音で、ものすごくゆっくり話してくれるので、その先生の話している言葉なら80%ぐらい理解できるようになりました。

人と会話できることはとても楽しいことです。私も雑談ぐらいなら少しはできるようになったかなと思った矢先、先日、私のアパートの大家さんから、大変なことを告げられました。「離れたところに住んでいる家内の母親の体調が思わしくなく、あなたが今、住んでいるアパートで、看護師さんも雇って母親を療養させたいので、できるだけ早くこのアパートから出ていってほしい。」と突然、言われたのです。

その翌日から、私のアパート探しが始まりました。昨年の4月に、私は前任者から引継ぎで、今のアパートに入りました。つまり、アパートの名義を前任者から私に代えただけなのです。何の苦労もなく住む場所が見つかりました。しかし、次は、何もない状態で一からアパートを見つけなければなりません。インターネットで検索してその場所に直接行ってみますが、そこで必要なのは雑談ではなく、具体的な交渉なのです。何か所も訪れてはみましたが、訪れるたびに言葉の壁に直面します。十分なコミュニケーション能力が身につけてないまま、外国人と交渉していくことの大変さを思い知らされているのが、ここ数日間の近況です。

心が折れそうです。そんな中、まもなく、新年度が始まります。

**感想文 萩森 健治**：ほぼ毎日イタリア語を勉強されていても、言葉の壁はまだまだ高いですね。国際交流協会の日本語教室で勉強しているベトナム、中国、インドネシア、タイ、モンゴル、ミャンマーから来日した受講生の皆さんの苦労も解りそうな気がします。

YIA 定例活動 他 ◆日本語教室：日本語で教えています。講師募集中！

【鴨島教室】 毎週日曜日 13:30~15:30 【山川教室】 毎週日曜日 10:00~11:30

お問い合わせ先：萩森健治 ☎0883-24-8653